

憧れのガーデンリビングを手に入れました

昼も夜も快適に過ごせる 光が差し込み、 風が通るパテイオ

Style 20

目隠しに植えていた木が大きくなってきたこと、植栽のお手入れが負担になっていたというSさんからの外構リフォームの依頼でした。

植栽の代わりとなる目隠しには、しっかりと高さのあるLIXILの「プラスG」をチョイス。植栽と違い、パテイオ全体を覆うことで感じる圧迫感を懸念されていたSさん。本来は4段にはまっているパネルのうち、最上段を取り払うことで、目隠しとしての機能は確保しつつ、採光性のアップと圧迫感の低減を実現しました。また、一部分には縦格子のパネルを採用したため、気持ちのよい風が通り抜けます。ガーデンルームとは違い、日光・風・外の音などオープン空間ならではの良さを感じられるパテイオになりました。

夜の外構を照らし出す照明計画もこだわりのポイント。グラウンドライトとスポットライトを組み合わせた光が、庭木と格子の影を生み出します。格子の隙間やパネルを透過してあふれた光が敷地の外をほのかに照らし、道を通る方にもやさしいエクステリアになっています。

五感で楽しむことができるくつろぎのパテイオを実現しつつ、タイルと板石敷きで土の部分の減らしお手入れの負担を減らした、快適性と実用性を両立したお庭になりました。



平面図

作成=エクステリアデザイン神戸

兵庫県S邸

施工面積 約15坪

施工期間 約20日

設計・施工 エクステリアデザイン神戸 (P.128)

プランナー 堀川 敦生さん (P.125)

※使用商材
LIXIL「プラスG」



BEFORE



夜の
外構を
ふんわり
ライトアップ

①採光パネルの最上段を取り外したことで、通りからの視線は遮りつつも、圧迫感を弱めています。②施工前。砂利部分と植栽スペースが多かったため、その手入れが負担になっていました。③パティオの反対側にも、目隠しに覆われたスペースを確保。④⑤⑥夜になるとライトアップ。グラウンドライトとスポットライトを組み合わせたこだわりの照明計画です。⑦日中のエクステリア全景。

